TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

これが神のやり方 -神は義である-
ローマの信徒への手紙 3:1-8

2026 年 7 月 11 日 & 12 日
余沢 武 牧師

I. イントロダクション

皆さん、こんにちは。TBC の将来のワーシップ担当牧師候補である、ジョン・キャンベル牧師、その奥様のアンナさん、そして娘さんのセラさんを歓迎しましょう。ジョン牧師とアンナさん、どうぞお立ちいただけますか。お二人は、これから 1 か月間、私たちと一緒にいてくださいます。皆さんが、お二人の主に対する愛によって祝福されることを信じています。どうぞ、お掛けください。

IBP、つまり新しい礼拝堂を建設する計画について、近況をご報告いたします。こちらの図をご覧ください。皆さんが忠実に献金してくださることに感謝いたします。この 1 か月で、650 万円の献金が献げられました。現在の合計は 4 億 8,740 万円です。月に、「一人一万円」、または「一人平均 1 万円」という今のペースで献金されれば、2026 年 12 月までに「目標額」に達する見込みです。

引き続き、建築設計事務所の選定のためにお祈りください。また、IBP のために献金される際には、IBP 専用の献金封筒を使うか、IBP への献金であることを明記してください。将来の世代のために、そしてこの街とこの国における福音の働きのために献げてくださっていることを感謝します。それでは、お祈りしましょう。

ローマ人への手紙で、私たちが神を認めようとしなかったために、神の怒りが現されたということを学びました。
私たちは、罪深い欲望に引き渡され、不道徳な者、争う者、高ぶる者、人を中傷する者、愛のない者、あわれみのない者となりました。
私たちは、他の人が同じようなことをするのを称賛したり、さばいたりしますが、自分たちも神にさばかれるに値する者なのです。
異邦人は、心の中で知っていることに基づいてさばかれます。
ユダヤ人は、神のみことばを通して知っていることに基づいてさばかれます。
ユダヤ人は、神の民のしるしである割礼を受けていますが、彼らもまた罪に定められます。なぜなら、そのしるしが指し示すもの、すなわち、神のみことばへの従順によって表されるところの、信仰を通じた神との真の関係を持っていないからです。
しかし、そのような神との関係を持つ人は、だれでも神の民です。今日は、その理由を見ていきます。

II. 神は義です

(1)ユダヤ人の優れた点

ローマの信徒への手紙 3:1-2 を見ましょう。
「1 では、ユダヤ人の優れた点は何か。割礼の利益は何か。2 それは、あらゆる点でたくさんあります。第一に、神の言葉が委ねられたことです。」

先週、割礼とは、ユダヤ人が、アブラハムの子孫であり、「神の民」になるという、神とアブラハムとの間の契約の当事者であることを示すしるしであることを学びました。

しかし、人を神の民とするものは、割礼ではなく、割礼が指し示す「神との真の関係」なのです。それなら、割礼にはどのような利点があるのでしょうか。パウロは、その利点が、聖書、つまり旧約聖書において「(ユダヤ人に)神の言葉が委ねられたこと」であると言っています。

神は、ご自分のことばによって宇宙を創造されました。神は、「光あれ」と言われました。すると、光がありました。「神のことば」とは、「神の真理に根ざした、神の思いそのものを表現したもの」です。そして、「神の力」の助けによって、神のことばは、被造物に存在といのちを与えます。これが、私たちが聖書の中に持っているものです。例えば、
神がアダムとエバにご自分のことばを語り、エデンの園の禁断の実を食べてはならない、食べれば死ぬ、と言われたとき、それは真理に根差した神の思いを表していました。もし彼らがそれを受け入れて従っていたなら、彼らは生きていたでしょう。
神が、ヨナを通してニネベの人々に、罪から立ち返るようにと御言葉を語られたとき、それは、真理に根ざした神の思いを表わしていました。彼らはそれを受け入れ、従い、生きました。

映画『インディ・ジョーンズ／最後の聖戦』の中で、冒険家インディ・ジョーンズは、「聖杯」と呼ばれる杯を探し求めます。その杯は、イエスが最後の晩餐で用い、さらにイエスの血を受け止めるのにも使われた杯であると言われ、その杯から飲む者は永遠のいのちを得ることができる、と信じられていました。

もちろん、そのような杯は実際には存在しません。し

かし、本当に存在するものは、「神のことば」である聖書です。聖書には、イエスにある神の救いのご計画が記されています。それは、神の真理に根ざした、神の思いが表和されています。そして、それを受け入れて従う人は、生きて、「永遠のいのち」を持つのです。

これがユダヤ人にゆだねられていたことです。パウロは、「ユダヤ人には何の優れた点もない、とはどういうことですか。彼らには神のことばそのものがゆだねられていました。だからこそ、彼らは救われるし、他の人々もそれを受け入れて従うことによって救われます」と言っているようです。

3節と4節です。
「3 それはどういうことか。彼らの中に真実でない者がいたにせよ、その不真実のせいで、神の真実が無にされるとでもいうのですか。 4 決してそうではない。人はすべて偽り者であるとしても、神は真実な方であるとすべきです。」

それは、詩篇51編4節に
「過ちをことごとく洗い去り／私を罪から清めてください」
と書いてあるとおりです。

別の問いがあります。もし、不真実で、神のことばに従うことを拒んだユダヤ人が、神の民として救われないのであれば、それは、神がアブラハムへの約束に忠実ではなかったということになるのでしょうか。

パウロは「いいえ」と答えます。
申命記 28 章で、ユダヤ人が約束の地に入る前に、神は彼らにこう語りました。
もし彼らが神に従い、神のすべての命令を守るなら、彼らは神に祝福される。
もし彼らが神に従わず、神のすべての命令を守らないなら、彼らは神にさばかれ、罰せられる。

神は、ご自分のことばに忠実です。神はダビデを王とし、その子孫を通して永遠の王国を打ち立てると約束された後も、ダビデはバテ・シェバとの姦淫や、彼女の夫を殺害するという罪を犯して神に背いたとき、神はご自分のことばに忠実でした。

神は、ダビデに彼の一族に災いをもたらすと告げられました。ダビデは詩篇 51 篇でこう言ったのです。
「過ちをことごとく洗い去り／私を罪から清めてください。」

(2)詭弁
5節から7節です。
「5 しかし、私たちの不義が神の義を明らかにするとしたら、何と言うべきでしょう。人間としての言い方をすれば、怒りを下す神は正しくないのですか。 6 決してそうではない。もしそうだとしたら、神はどうして世をお裁きになることができましょう。 7 私の偽りによって神の真理がいっそう増して、神の栄光となるのであれば、なぜ、私はなおも罪人として裁かれなければならないのでしょうか。」

パウロは、神のさばきを逃れる上で人間の詭弁が使われていることを指摘しています。その論理はこうです。
もし数学の試験で私たち全員が悪い点を取り、ただ一人だけがいい点を取って奨学金をもらったとしたら、その人は私たちに感謝すべきです。私たちが、その人に奨学金をもらわせたのですから！
もし私たちが皆、罪深く、不義であり、神がどれほど驚くほど義なるお方であるかを全宇宙に示しているのだとしたら、神も私たちをさばく代わりに感謝すべではないでしょうか。私たちが神を栄光あるお方にしているのです！

パウロは、「いいえ、それは人間の議論だ」と言います。神は世界の創造主です。神は世界の全てに於いて責任を負っています。神こそが、この世のすべてを正しくさばかれる唯一のお方です。

8節です。
「8 また、『善を来らせるために、悪を行おうではないか』ということになるのでしょうか。私たちがそう言っていると中傷する人々がいますが、彼らが裁かれるのは当然です。」

パウロは、不従順なユダヤ人が福音に反対して論じるのと何ら変わりがないと言います。彼らは、パウロが「善が生まれるために、悪を行おうではないか」と言ったと非難しているのです。言い換えるとこういうことです。
「なぜ、私たちが律法に背いたと非難するのですか。あなたたちも同じことを教えているではありませんか？」
「あなたたちも私たちと同じように神の御言葉に背きながら、自分たちは神の民だから赦される、と言っているのではないですか？」

クリスチャンの皆さん、ここで、私たち自身が自問すべき問いがあります。私たちは実際そうしているでしょうか。「私たちは神の民だから大丈夫だ」と言って、神の御言葉に背いているのではないでしょうか。次のような質問をさせてください。

神の栄光は、私たちの罪の赦しを通して現されるのでしょうか。もちろん、そのとおりです。

神の栄光は、私たちの罪や不道徳や怒りを通して現されるのでしょうか。いいえ。赦しは栄光あるものですが、罪はあくまで恥ずべきものです。目的は手段を正当化しません。

それは、ちょうど、泥棒が家に押し入り、住人を刺して逃げたようなものです。そして、その結果、その被害者は病院で愛情深い看護師と出会い、二人は結婚しました。
その被害者が、その愛情深い看護師と結婚したことは良いことでしょうか。もちろん、そのとおりです。
では、その泥棒が家に押し入ったことは良いことでしょうか。いいえ。目的は手段を正当化しません。

聖書注解者ダニエル・ドリアーニは、このことについても警告しています。私たちも、この世の人々と同じように、自分の行いの結果によって自分の道徳的価値を判断してしまうことがあります。私たちは、こんなふうに言うかもしれません…。
「薬物を使ってはいけません。それはあなたに害を及ぼすからです。」
「真実を話しなさい。どうせ、いずれわかることなのですから。」
「親や上司の言うことを聞きなさい。そうすれば問題を起こさずに済みます。」

どれももっともらしく聞こえます。しかし、そこには欠けているものがあります。「神」、「私たちと神との関係」、そして「神のみことばへの私たちの従順」が欠けているのです。私たちの行いは、神との関係から生まれるものではありません。私たちの行動は、神との関係から生じるものではなく、神への信仰を通じて、神への従順という形で表されるものです。

ひとたびそのような論理が私たちの中で成り立つと、私たちの行いは、この世の人々の行いに似たものとなります。
害をもたらさないのであれば、小さな「罪のないうそ」はかまわない、と考えるかもしれません。
問題を起こさないのであれば、人を欺くような商売のやり方もかまわない、と考えるかもしれません。
だれにも気づかれないのであれば、婚姻関係外、あるいは結婚前に、だれかと性的な関係を持ってもかまわない、と考えるかもしれません。
自分が同意できず、しかも他人が気づかないのであれば、権威に従わなくてもかまわない、と考えるかもしれません。

自分が傷つけられたのであれば、怒りや陰口、赦さない気持ちを抱いたとしても、自分が慰められるならかまわない、と考えるかもしれません。
私たちは誇らしげに、「イエスは私のすべての罪を赦してくださいました。私は神の恵みの産物です」と言います。そして、ユダヤ人が割礼を、罪を犯す口実にしたように、私たちも救いを、罪を犯す口実にしてしまうかもしれません。パウロは、そのような人たちに対して、「彼らが裁かれるのは当然です」と言っています。

では、だれかに心が引かれるとき、権威ある立場の人と意見が合わないとき、あるいは傷つけられたとき、私たちはどうすべきでしょうか。
これが、2週間前に私たちが学んだことです。
割礼を受けた心をもって、神に立ち返りなさい。神への信仰を通して、そして神のみことばへの従順によって表される、神との真の関係を育みなさい。

例えば、だれかが私たちの期待を完全に裏切り、私たちが大変な努力をして取り組んできたことを台無しにしてしまうことがあるかもしれません。それは、仕事のプロジェクトや奉仕のプロジェクト、あるいは、だれかとの大切な関係かもしれません。そのようなとき、私たちには二つの選択があります。

その人、あるいはその人たちのところへ行って、自分の感情をすべて相手にぶちまけます。気分はすっきりするでしょうが、それは、罪を犯すことになります。
神のもとへ行き、自分の感情のすべてを神に打ち明け、神の主権を認めます。神が私たちに取るよう望んでおられる具体的な一歩を神に尋ねて、それを行います。そして、その結果を神に委ねます。つまり、割礼を受けた心で応答するのです。そうして初めて、奇跡が起こるのを見ることができるのです。

これこそ、多くのユダヤ人が、神のみことばを持っていながらも、持つことができなかったものです。そしてイエスは、聖霊の助けによって、これを私たちすべてに可能にするために来られました。

それは、私たちが罪を犯さなくなるという意味ではありません。しかし、私たちが罪を憎み、神のもとに行くことを学び、神に尋ね、神を信頼し、神に従い、聖霊の力によって神の民へと変えられていくということを意味しています。

もしあなたが神とのこの関係を持っていないなら、今日、イエスにあなたの罪を赦してくださるようお願いし、イエスとともに新しい人生を生きるのを助けてくださるようお願いすることから始めてください。
どうぞ、今日、してください。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール:cc@tokyobaptist.org
もしくは:https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
(毎週届くメールニュース)
http://t-b-c.us/tbclife

スモールグループ参加申込み

http://t-b-c.us/sgsu

オンライン献金

http://t-b-c.us/give

SGレッスンのPDF

https://gotbc.org/sg2826jp

TBC カレンダー
(TBC のスケジュールが確認できます)
https://tokyobaptist.org/calendar

★クラス 101
教会員になるためのクラス
9月6日(日)1:00 pm ~ 5:00 pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: どなたでも

★クラス 201
クリスチャンとして成長するために
9月20(日)1:00pm - 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 101 を修了したメンバーの方

全クラス申し込み:
https://t-b-c.us/classes

奉仕者募集中!

急募!

1.日本語訳レイアウト&印刷

(女性2名募集)

英語のスキルは必要ありません。
・月1回、土曜日16時にTBCにて作業します。
今見ているこの紙を作成&印刷してもらいます。
ひな形があるので翻訳された原稿をコピーして貼り付け整え、印刷するだけの簡単な作業です。

*スキル:MS Word の操作ができる方。
*TBC の教会員であることが必須です。

2.礼拝メッセージ翻訳

・1ケ月半~2ケ月に1度、自宅でできます。スケジュールは都合に合わせて選べます。
英語と日本語が出来る方

3.日本語字幕オペレーター

9時の礼拝の字幕オペレーターの募集です。
英語を聞いて日本語のページを矢印キーを押して進めるだけの簡単な作業です。
月1,2回。可能な日を月末に調整します。

連絡先:hiromik@tokyobaptist.org